別記様式第２号

持続的生産強化対策事業のうち令和2年度次世代国産花き産業確立推進事業関する事業評価票

都道府県名	事業実施主体名	対象作物・畜種名	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容		成果目標の達成状況			具体的な取組内容	農林水産省生産局、政策統括官、地方農政局（北海道農政事務所、内閣府沖縄総合事務局）の評価所見
				実績値	差	基準年 年度	目標年 令和5年度	達成率		
岡山県	岡山県花き消費拡大実行委員会	りんどう	2020年度	収量 18,300本/10a	891本/10a	令和元年 17,409本/10a	15,830本/10a	−177.2% 未達成	・高品質化生産技術等の導入実証 ・検討会の開催 ・各種マニュアルの作成	活動区域における花き(りんどう)の10aあたりの収量は、夏季の高温による生育不良が影響し、十分な収量が確保できず、目標未達となった。 今後、目標達成に向けた改善計画を策定するよう指導する。 作付面積の目標については、「岡山RND４号」の実証やマニュアルの作成等により各産地で栽培が拡大したため、目標を達成した。 りんどうの販売金額の目標については、県産花きのPRを積極的に行った結果、目標を達成した。 スイートピーの販売数量の目標については、需要に応じたスイートピー新品種の導入が産地で進んだため、目標を達成した。 スイートピーの販売金額の目標については、公共施設と協力した花きの展示イベント、パネル展示等県産花きのPRを積極的に行った結果、目標を達成した。
				作付面積 20a	9.5a	令和元年 10.5a	40.7a	317.8% 達成	・高品質化生産技術等の導入実証 ・検討会の開催 ・各種マニュアルの作成	
				販売金額 30,000,000円	1,575,449円	令和元年 28,424,551円	31,654,894円	205.0% 達成	・消費拡大プロモーション活動 ・検討会の開催	
		スイートピー		生産数量 8,000本	7,200本	令和元年 800本	212,900本	2945.8% 達成	・高品質化生産技術等の導入実証 ・検討会の開催 ・各種マニュアルの作成	
				販売金額 21,000,000円	1,082,649円	令和元年 19,917,351円	23,495,175円	330.4% 達成	・消費拡大プロモーション活動 ・生産者と実需者の連携促進 ・検討会の開催	
広島県	広島花きイノベーション事業推進協議会	きく	2020年度	収量 27,216本/10a	1,296本/10a	平成28年 25,920本/10a	令和元年 25,333本/10a	−45.2% 未達成	・高品質化生産技術等の導入実証 ・検討会の開催 ・各種マニュアルの作成	新型コロナウイルス感染拡大によりイベント需要からホームユース需要に変化したがそれに対応した生産へ切り替えられなかったことや、燃料・資材高騰による品目転換により目標を達成していない。 今後、目標達成に向けた改善計画を策定するよう指導する。 なお、統計調査の変更により、主産県以外は、収量は6年に一度、作付面積は3年に一度の調査であり、毎年の実績把握ができない状況であるため、県、JAの協力のもとに実績把握を行う成果目標変更の改善計画の提出を求める。社会情勢の変化に対応するため、成果目標の変更はやむを得ないと判断する。 広島県産の菊一活動区域（江田島市）の花き
				作付面積 8,063a	733a	平成28年 7,330a	令和元年 6,000a	−181.4% 未達成	・高品質化生産技術等の導入実証 ・検討会の開催 ・各種マニュアルの作成	
				販売業者の取扱数量 5,969千本	285千本	H26～H30年の5中3平均 5,684千本	4,879千本	−282.4% 未達成	・高品質化生産技術等の導入実証 ・検討会の開催 ・消費拡大プロモーション活動	
山口県	山口県花卉園芸推進協議会	りんどう	2020年度	販売業者の取扱数量 164,222本	7,821本	H27～R元年の5中3平均 156,401本	175,338本	242.1% 達成	・低コスト・省力生産技術等の導入実証 ・消費拡大プロモーション活動 ・検討会の開催 ・各種マニュアルの作成	オリジナルリンドウの出荷数量の目標は、地域に応じた作型開発の実証に取組み、PRイベントにより認知度向上・消費拡大・新規需要創出を図った結果、目標を達成した。
香川県	花の里かがわ推進委員会	輪ギク	2020年度	収量 3,284本/a	114本/a	H25～H29年の5中3平均 3,170本/a	3,178本/a	7.0% 未達成	・高品質化生産技術等の導入実証 ・検討会の開催	輪ギクの収量については、病害虫の発生により収量が減少し目標未達となった。今後、目標達成に向けた改善計画を策定するよう指導する。 マーガレットの収量については、定植時期の7月～9月が高温で推移したため、一部のほ場で根の活着不良が起こり、収量が減少し、目標未達となった。今後、目標達成に向けた改善計画を策定するよう指導する。 ラナンキュラスの収量については、土壌条件による生育実証やラナンキュラス栽培マニュアルを改定し、安定生産・栽培指導に繋げたこと等により成果目標が達成した。 生産コストのうち輪ギクにおいて、農薬代等一部削減したコストもあるが、高温対策や品質向上、燃料費高騰への対応等の理由から、親株として一部苗を3年に1度購入していた経営スタイルから、苗の全量購入へ変更したため、年間の苗代が増加し、結果として生産コスト削減の目標を達成しなかった。今後、目標達成に向けた改善計画を策定するよう指導する。 生産コストのうちマーガレットについては、生産コスト削減の取組を行っているが、評価の指標にしている経営指標の更新年度の都合上、数字として表出せず、目標未達となった。今後、目標達成に向けた改善計画を策定するよう指導する。 ラナンキュラスの作付面積については、、土壌条件による生育実証やラナンキュラス栽培マニュアルを改定し、安定生産・栽培指導に繋げたこと等により成果目標が達成した。 花き消費金額については、物価高に伴い嗜好品である花きの購入頻度が減少したため目標未達となった。今後、目標達成に向けた改善計画を策定するよう指導する。
		マーガレット		収量 4,639本/a	221本/a	H26～H30年の5中3平均 4,418本/a	4,224本/a	−87.8% 未達成	・新たな出荷規格等の導入実証 ・検討会の開催	
		ラナンキュラス		収量 7,265本/a	346本/a	H26～H30年の5中3平均 6,919本/a	7,925本/a	290.8% 達成	・高品質化生産技術等の導入実証 ・種苗等増殖技術の導入実証 ・検討会の開催 ・各種マニュアル等の作成	
		輪ギク		生産コスト 1,639,000円	−87,000円	平成28年 1,726,000円	1,875,000円	−171.3% 未達成	・高品質化生産技術等の導入実証 ・検討会の開催	
		マーガレット		生産コスト 1,618,800円	−85,200千円	平成29年 1,704,000円	1,647,600円	66.2% 未達成	・新たな出荷規格等の導入実証 ・検討会の開催	
		ラナンキュラス		作付面積 218a	20a	H26～H30年の5中3平均 198a	279a	405.0% 達成	・高品質化生産技術等の導入実証 ・種苗等増殖技術の導入実証 ・検討会の開催 ・各種マニュアル等の作成	
		全般		消費金額 12,785円	609円	H26～H30年の5中3平均 12,176円	11,269円	−148.9% 未達成	・消費拡大プロモーション活動 ・花育体験、園芸体験等による活用促進 ・検討会の開催	
高知県	高知県園芸品販売拡大協議会	トルコギキョウ	2020年度	労働時間 1,214時間	−64時間	平成26年 1,278時間	−	0.0% 未達成	・低コスト・省力生産技術等の導入実証 ・検討会の開催	10a当たり労働時間（年間）の低減は、令和6年度に見直されるため令和5年度時点で現状値がなく、評価不能のため目標未達となった。今後、目標達成に向けた改善計画を策定するよう指導する。 10a当たり収量については、本来10a当たり3万本を作付けするところ、高齢化及び担い手不足により疎植となり収量が確保できず目標未達となった。今後、目標達成に向けた改善計画を策定するよう指導する。 花育又は園芸体験を受講した者の花きの購入数量については、花育や園芸体験が将来的な消費拡大を目的として中高生を対象にした活動としたため、直接的な消費に繋がりにくい部分があり目標未達となった。今後、目標達成に向けた改善計画を策定するよう指導する。 活動区域における花きの新たな輸送手段の拡大については、トラックに加え航空便の輸送手段を拡大したため、目標達成。 花き(グロリオサ)の流通経路間における輸送効率については、国内出荷時の3倍の箱入り本数（1箱60本入り）とすることで、輸出時の輸送コスト低減の取組を行っているが、ウクライナ戦争の影響で航路を迂回しなければならず、フライト時間が13時間から15時間となり、燃料の使用量が増加、加えて円安傾向のため燃料資材費高騰の影響を大きく受け、輸送コストを削減することができず目標未達となった。今後、目標達成に向けた改善計画を策定するよう指導する。 活動区域における花きの販売業者の販売金額については、目標達成。
		トルコギキョウ		収量 26.4千本/10a	1.3千本/10a	平成30年 25.1千本/10a	23.8千本/10a	−100.0% 未達成	・低コスト・省力生産技術等の導入実証 ・検討会の開催	
		全般		受講者の花き購入数量または金額増加割合 30.0%	−	令和2年 受講者	25.0%	83.3% 未達成	・花育体験、園芸体験等による活用促進 ・検討会の開催 ・各種マニュアル等の作成	
		ユリ		輸送手段 航空便	−	トラック	航空便	100.0% 達成	・生産、加工、流通における品質管理技術等の導入実証 ・検討会の開催 ・各種マニュアル等の作成	
		グロリオサ		輸送コスト 407円/本	−84円/本	令和2年 491円/本	600円/本	−129.7% 未達成	・生産、加工、流通における品質管理技術等の導入実証 ・検討会の開催	
		全般		販売金額 81,090千円	3,861千円	H26～H30年の5中3平均 77,229千円	165,262千円	2280.0% 達成	・消費拡大プロモーション活動 ・検討会の開催	

評価機関名：中国四国農政局